

一般廃棄物最終処分場

柿 埋 立 地





長岡市は、21世紀に向けて豊かな自然や文化に抱かれた快適な町づくりに努めています。近年、地球に優しい環境づくりが叫ばれるなかで、廃棄物の減量と適正な処理が大きなテーマとなっておりますので、その実現に向けて努力しているところであります。

本事業は、昭和45年に稼働した旧埋立地が満杯となったため、新たに平成6年から3か年継続事業として建設を進めてまいりました管理型一般廃棄物最終処分場であります。埋立地は高密度ポリエチレン製の遮水シートを施すとともに、水処理施設においても生物処理・化学処理をおこなうなど、周辺環境の保全や公害対策に充分意を尽くし、かつ、最新の技術を導入した施設であります。

このたびの新しい廃棄物処理場の供用開始により、清潔で快適な町づくりに向けて、さらに一歩前進するものと確信しております。

終りに、本施設の建設にあたり深いご理解とご協力を賜りました地元の皆様をはじめ関係各位に深く感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

平成9年4月 長岡市長 日浦晴三郎



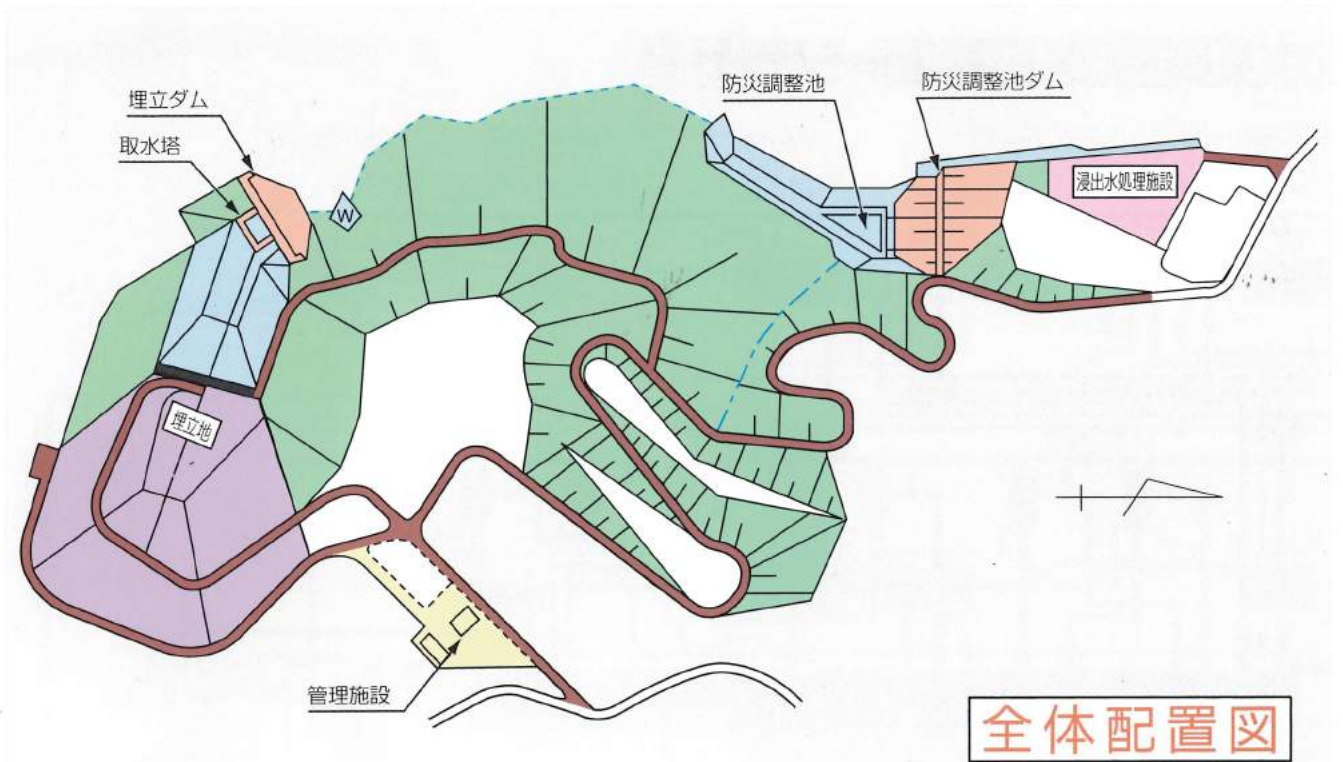
▲柿に自生する
カタクリ



▲管理棟



▲柿埋立地全景



全体配置図

施設概要

施設名／一般廃棄物最終処分場柿埋立地
 所在地／新潟県長岡市柿町字増沢1520番地
 敷地面積／145,490m²
 埋立面積／30,000m²
 埋立容量／120,000m³
 埋立形式／管理型処分場
 埋立方法／サンドイッチ+セル方式
 埋立対象物／寿焼却場の焼却残渣、不燃物及び道路側溝等の土砂類
 浸出水処理方法／生物処理・化学処理
 処理能力／180m³/日
 モニタリング設備／地下水モニタリング井：3本
 防災設備／防災調整池容量：7,700m³
 着工／平成6年7月
 竣工／平成9年3月
 事業費／18億6千万円
 設計／(株)建設技術研究所
 本体工事／(株)吉原組
 水処理施設工事／オルガノ(株)

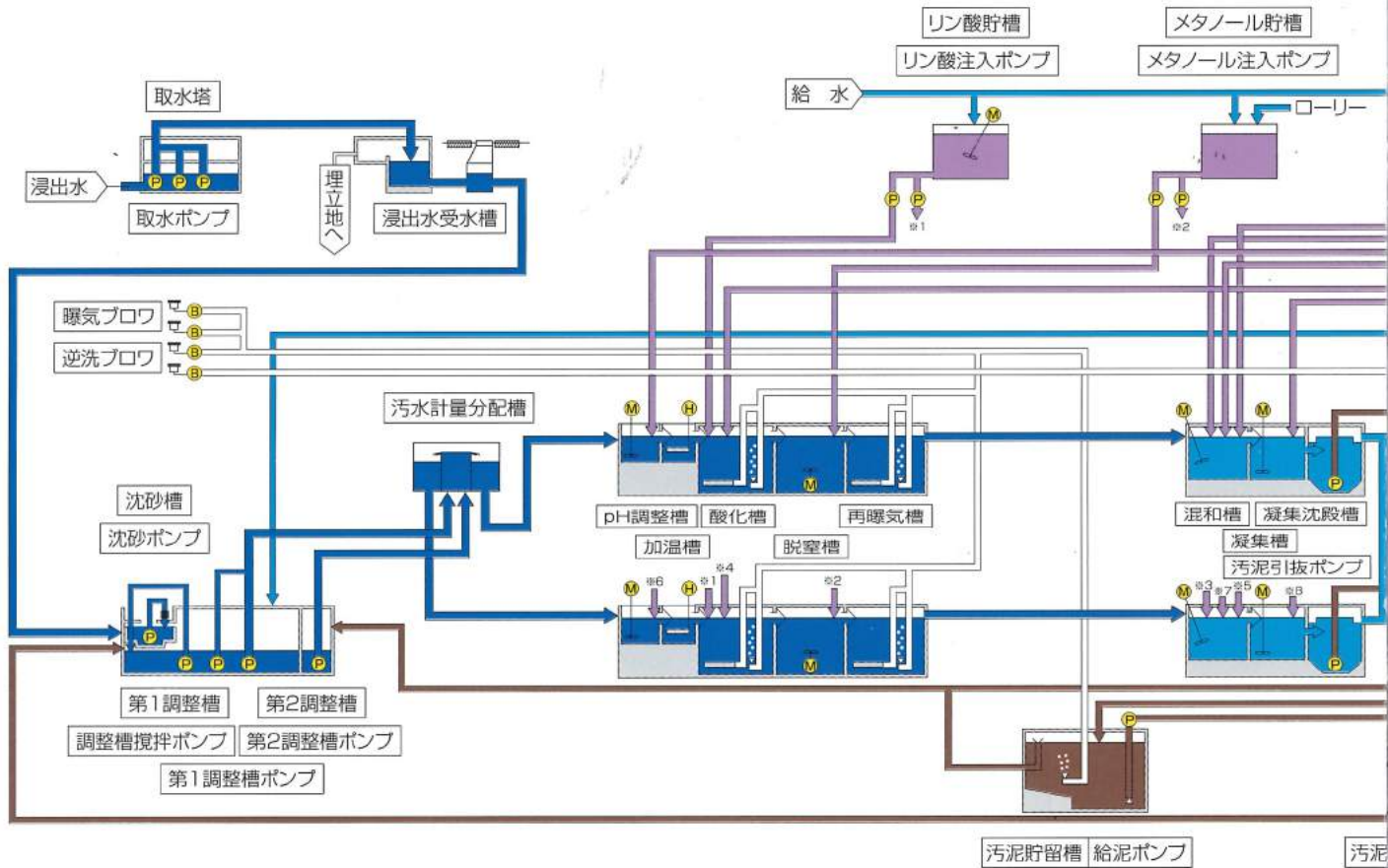


▲埋立地全景



▲水処理施設棟

長岡市一般廃棄物最終処分場



次に主な設備の役割
をご説明致します。



▲汚水計量分配槽



▲薬注施設

1. 取水塔、沈砂槽

埋立地から浸出した汚水は取水塔へ流入し、取水ポンプにて揚水され自然流下にて沈砂槽へ流下します。

2. 調整槽

ここでは流入した浸出水の量的・質的な調整を行います。汚水は調整槽ポンプにより揚水され、生物処理施設へ一定量が分配・送水されます。

3. 酸化槽

流入した汚水は、槽内に設置してある接触ろ材表面に付着した好気性微生物により有機物が酸化分解され、またアンモニア性窒素も硝酸へと酸化されます。好気性微生物への酸素供給と攪拌を目的としてブロウによる空気曝気を行います。

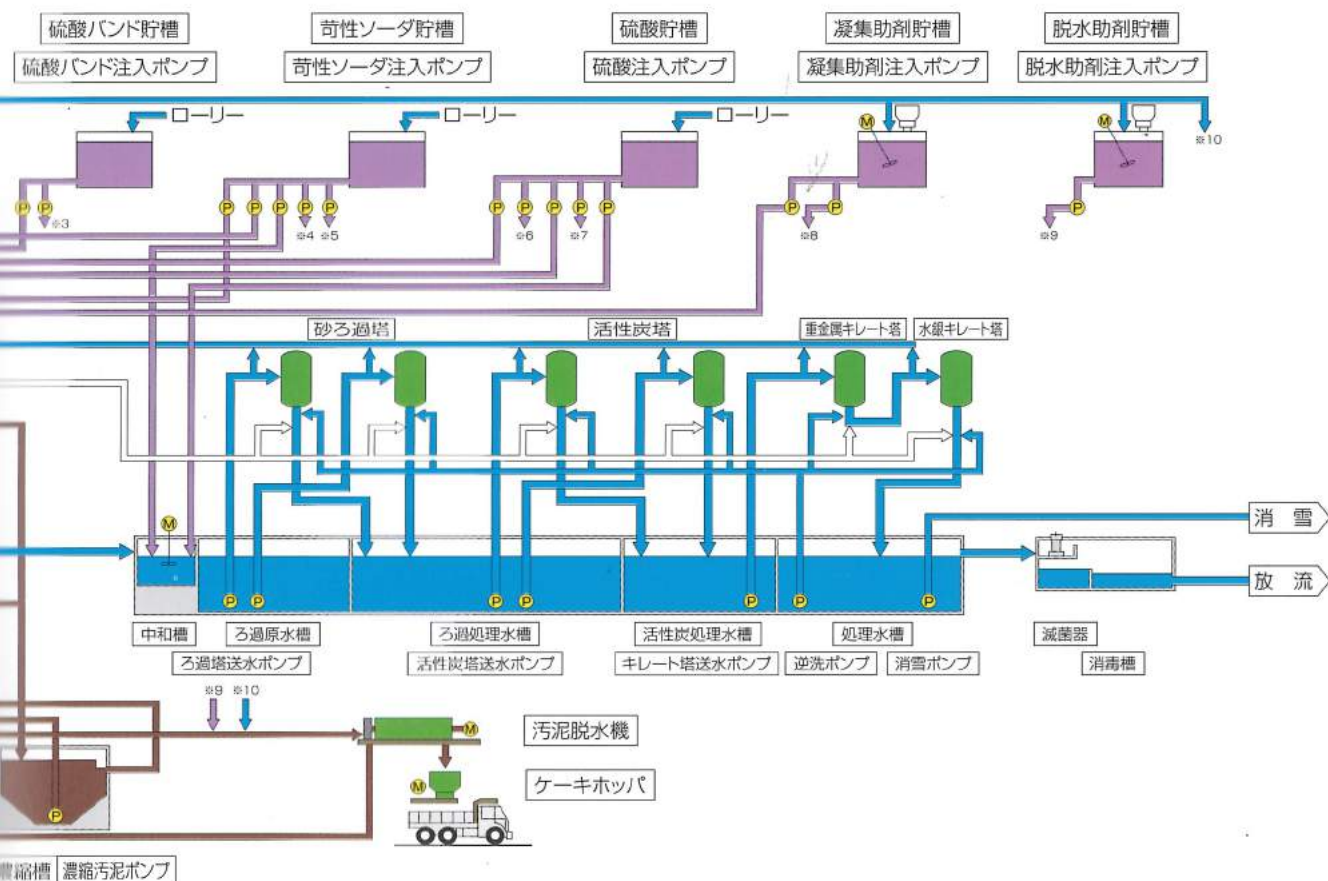
4. 脱窒槽

この槽では接触ろ材に付着した脱窒菌により酸化された硝酸を窒素ガスへと処理します。脱窒菌の栄養源としてメタノールを注入し、水中攪拌機により攪拌を行います。

5. 再曝気槽

脱窒槽で注入したメタノールの過剰分を酸化槽と同じく、好気性微生物により酸化分解します。

浸出水処理施設フローシート



▲砂ろ過塔



▲汚泥脱水機室



▲監視盤

6. 凝集沈殿槽

生物処理された汚水には微細な浮遊物が含まれています。ここではまず凝集剤と凝集助剤を注入し、混合攪拌することにより浮遊物を核とした大きな沈殿しやすい凝集フロックを形成させます。凝集沈殿槽では十分な滞留時間を取り、上澄水と汚泥に沈殿分離させ浮遊物を効率よく除去します。

7. 砂ろ過塔・活性炭塔

凝集沈殿処理された汚水にはまだ極微細な浮遊物やCOD成分が残存しているため、砂ろ過器と活性炭塔により除去します。

8. 重金属・水銀キレート塔

万一汚水の中に微量の一般重金属や水銀などが含まれている場合には、これら塔内に充填された特殊な樹脂により吸着させます。

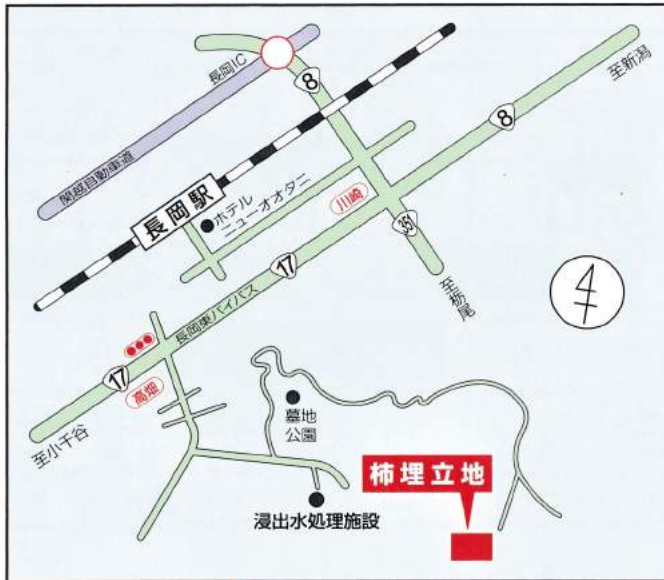
9. 消毒槽

きれいになった水は、最後に次亜塩素酸カルシウムの強力な酸化作用により消毒処理され、安全無害な水となって河川に放流されます。

10. 汚泥脱水機

凝集沈殿槽より引き抜かれた汚泥は汚泥濃縮槽で重力濃縮された後、脱水助剤を添加し遠心脱水機により脱水します。脱水された汚泥はホッパーに貯留し、定期的に埋立地へ搬出し埋立処分します。

案内図



▲信濃川で越冬する白鳥

環境部環境施設課

〒940 新潟県長岡市寿3丁目6-1

TEL.(0258)24-3300・FAX.(0258)24-6553

柿埋立地

〒940 新潟県長岡市柿町字増沢1520番地

TEL.(0258)35-5165